

1学期のあんなこと・こんなこと～その1～



① 歯の健康

高島市小学生のう歯率は、県内でもワースト3に入るほど高く憂慮すべき事態となっています。そこで、市内全小学校では、各学年に応じたブラッシング指導または歯科指導を実施するとともに、本年4月の1年生からフッ化物洗口(1回/週：左写真)を開始しました。

右写真は、保健室前掲示板です。6月の歯科健診結果を受けて、本校養護教諭の上原先生が各学年ごとにおし歯になりやすい箇所を示してくれています。ご家庭でも、これらを参考にお子さんの1日3回の3分間磨きを見てやってください。



家族みんなで『8020運動』(80歳まで20本の歯を保つようにする運動)に取り組めれば素晴らしいです。

一 歯科における治療勧告について

治療勧告を受けた人	24人
学校全体としての勧告率	43%
7/6現在治療完了した人	11人
治療完了率	46%

★「健康の第一歩は口・歯から！」★

左の数字は、6月8日に渡した歯科治療勧告についてのものです。全児童56人のうち、半数近い43%が歯科医院で治療を受けるように勧められました。約3週間後に治療が終了したのは半分以下ですので、どうか早目のおし歯や歯並びについての受診をお願いします。

② 仲間づくり



6/16 ふれあい祭 開始直前 チームの「かけ声」

1学期は、1学年5人から13人の学級では味わえないダイナミックな集団活動を楽しみました。少人数学校ならではの、フットワークの軽さを生かした、本校伝統の「ふれあい祭」と昨年度から始めた「BUT(Build Up Time：小中学生が一緒に学習する時間)」です。クラスの人間関係は、園小中学校を一緒に過ごすよい仲間として10年以上続きますが、時には固定化したり視野が狭くなったりすることがあります。学年や校種の壁を外して、異学年集団で自分の持ち味を出そうとする姿や自他の新たな一面を見つける様子があります。微笑ましいよい光景が多いです。

7/4 BUTでの和やかな一場面 皆顔つきが優しい

